<u>北九州</u>	州工業高等	等専門学校	開講年度 平成29年度 (2	2017年度)	授業科目	英語特論(一般総合選択)		
科目基礎	計報							
科目番号		0157		科目区分	一般 / 選択	₹		
受業形態		授業		単位の種別と単位数	数 履修単位:	1		
開設学科		電子制御コ		対象学年	4			
開設期		前期		週時間数	2			
教科書/教	 材	ゼロからス	スタート 英語で話すトレーニングBC	OOK (Jリサーチ出版	 出版、安河内哲也 デイビッド・セイン)			
2当教員		東島 加奈				,		
到達目標	<u> </u>							
写真や資制限時間各セクシTOEICで	資料を英語 ⁻ 間に合わせ ⁻ ションの語 で400点程	で表現、説明で て英語で自己 最を8割以上球 度の得点をとる	できる。 召介ができる。 里解できる。 ろことができる。					
ルーブリ	リック				= .	T0		
			理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベル	レの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1			写真や資料を8割以上英語で表現、 説明できる。大きな空白を作らず に制限時間に合わせて話すことが できる。	写真や資料を6割以上英語で表 、説明できる。多少空白はある 相手に通じる。		写真や資料を4割未満しか英語で表現、説明できない。空白が多く、相手に内容が伝わらない。		
評価項目2			制限時間に合わせて英語で自己紹介ができる。大きな空白を作らずに50秒以上話すことができる。	乍らず 「介ができる。多少空白に		制限時間に合わせて英語で自己 介ができない。空白が多く、相 に内容がほとんど伝わらない。		
評価項目3			各セクションの語彙を8割以上理解できる。	各セクションの語彙解できる。		各セクションの語彙を4割未満し か理解できない。		
評価項目4	1		TOEICで400点程度の得点をとる ことができる。	TOEICで350点程度 ことができる。	足の侍点を取る	TOEICで300点程度の得点を取る ことができない。		
学科の型	達日煙T	 頁目との関(1-00000				
		スロージが	<u>//\</u>					
教育方法 既要	∡ →	一、様々な網	き語スピーキングテストで共通して求 東習問題を通じて話す練習をする。不 語力の向上を目指す。	められる「基礎発話: 足しがちな「話す練!	カ」「伝達力」 習」をすることで	「論理的展開力」の養成を目標としで、リスニング力や読解力を含めた		
三半の准は	カ方・方法	毎回授業の	D冒頭でペアで第3章の練習をする。そ に授業を進める。スピーキングテスト	その後、中間テストに	以前は主に第4章の	の練習、中間テスト以後は第5章の約		
主意点	<u> </u>	付属のCD 教科書は	プワークを含むため、英語を話そうとやE-CAT練習用動画を用いて自宅でも「E-CAT」という新しいスピーキング 食を推奨する。英検やTEAP、 GTEC、	ら練習が必要である。 テストのフォーマッ	トと難易度に沿っ	っている。学習成果を測るためにE- 5活用できる。		
<u> </u>		週	受業内容	造	ごとの到達目標			
		j	受業ガイダンス		英語スピーキング練習の意義			
			第1章 第2章	—————————————————————————————————————	英語で自己紹介			
	1stQ		第3章 第4章	与	自分の周りを英語で説明 写真や資料を英語で説明 問題演習			
		3週	第3章 第4章	写	自分の周りを英語で説明 写真や資料を英語で説明 問題演習"			
			第3章 第4章	写	自分の周りを英語で説明 写真や資料を英語で説明 問題演習			
		5週	第3章 第4章	与	自分の周りを英語で説明 写真や資料を英語で説明 問題演習"			
前期		6週	スピーキングテストの練習 第2章、第3章、第4章	自	英語で自己紹介 自分の周りを英語で説明 写真や資料を英語で説明			
		7週 🗦	スピーキングテスト		授業や自宅での練習成果確認			
				+zz	授業や自宅での練習成果確認			
			スピーキングテスト					
		9週 :	式験解説		テストや自宅学習の振り返り、新たな目標設定			
		14000	n. -	英	英語スピーチの構造			
		—	第5章			告		
		11週 🖇	第5章	30	0秒スピーチ	造		
		11週 12週 第	第5章 第5章	30 60	D秒スピーチ D秒スピーチ	告		
	2ndQ	11週 第 12週 第 12週	第5章 第5章 スピーキングテストの練習	30 60 30	0秒スピーチ 0秒スピーチ 0秒スピーチ	造		
	2ndQ	11週 12週 13週	第5章 第5章 スピーキングテストの練習 第5章	30 60 30 60	D秒スピーチ D秒スピーチ D秒スピーチ D秒スピーチ			
	2ndQ	11週 12週 13週 14週	第5章 第5章 スピーキングテストの練習 第5章 スピーキングテスト	36 66 36 66	D秒スピーチ D秒スピーチ D秒スピーチ D秒スピーチ 業や自宅での練	習成果確認		
	2ndQ	11週 第 12週 第 13週 第 14週 2	第5章 第5章 スピーキングテストの練習 第5章	36 66 36 66	D秒スピーチ D秒スピーチ D秒スピーチ D秒スピーチ	習成果確認		
	2ndQ	11週 第 12週 第 13週 第 14週 2 15週 5	第5章 第5章 スピーキングテストの練習 第5章 スピーキングテスト 前期末試験	30 60 33 60 授	0秒スピーチ 0秒スピーチ 0秒スピーチ 0秒スピーチ 業や自宅での練	習成果確認		
モデル ^ー		11週 第 12週 第 13週 第 14週 2 15週 5 16週 高	第5章 第5章 スピーキングテストの練習 第5章 スピーキングテスト 前期末試験 スピーキングテスト	30 60 33 60 授	0秒スピーチ 0秒スピーチ 0秒スピーチ 0秒スピーチ 業や自宅での練	習成果確認 習成果確認		

	人科学・社会	· 社会	英基定ののる	英語のつづりと音との関係を理解できる。	1	後2,後3,後 4,後5,後 6,後7,後 10,後11,後 12,後13,後 14
				英語の標準的な発音を聴き、音を模倣しながら発声できる。	1	後2,後3,後 4,後5,後 6,後7,後 10,後11,後 12,後13,後 14
				英語の発音記号を見て、発音できる。	1	後2,後3,後 4,後5,後 6,後7,後 10,後11,後 12,後13,後 14
				リエゾンなど、語と語の連結による音変化を認識できる。	1	後2,後3,後 4,後5,後 6,後7,後 10,後11,後 12,後13,後 14
				語・句・文における基本的な強勢を正しく理解し、音読すること ができる。	2	後2,後3,後 4,後5,後 6,後7,後 10,後11,後 12,後13,後 14
				文における基本的なイントネーションを正しく理解し、音読する ことができる。	2	後2,後3,後 4,後5,後 6,後7,後 10,後11,後 12,後13,後 14
甘磁的绐力				文における基本的な区切りを理解し、音読することができる。	2	後2,後3,後 4,後5,後 6,後7,後 10,後11,後 12,後13,後 14
基礎的能力				中学で既習の1200語程度の語彙を定着させるとともに、2600語 程度の語彙を新たに習得する。	1	後2,後3,後 4,後5,後 6,後7,後 10,後11,後 12,後13,後 14
				自分の専門に関する基本的な語彙を習得する。	1	後2,後3,後 4,後5,後 6,後7,後 10,後11,後 12,後13,後 14
				中学校で既習の文法事項や構文を定着させる。	1	後2,後3,後 4,後5,後 6,後7,後 10,後11,後 12,後13,後 14
				高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を 習得する。	2	後2,後3,後 4,後5,後 6,後7,後 10,後11,後 12,後13,後 14
			英語運用能 力の基礎固 め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっき りとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることがで きる。	2	後2,後3,後 4,後5,後 6,後7,後 10,後11,後 12,後13,後 14
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	2	後2,後3,後 4,後5,後 6,後7,後 10,後11,後 12,後13,後 14
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わる ように音読ができる。	2	後2,後3,後 4,後5,後 6,後7,後 10,後11,後 12,後13,後 14

			平易な英語で書かれ を読み取ることがで		その概要を把握し必	要な情報	2	後2,後3,後 4,後5,後 6,後7,後 10,後11,後 12,後13,後 14
			日常生活や身近な記 100語程度のまとま	活題に関して、自5 まりのある文章を英	うの意見や感想を整 語で書くことがで	理し、 きる。	3	後2,後3,後 4,後5,後 6,後7,後 10,後11,後 12,後13,後 14
			母国以外の言語や3 面で積極的にコミュ	文化を理解しようと ュニケーションを®	こする姿勢をもち、 引ることができる。	実際の場	3	後2,後3,後 4,後5,後 6,後7,後 10,後11,後 12,後13,後 14
			毎分100語程度の返 握できる。	100語程度の速度で平易な物語文などを読み、その概要を把 きる。			2	後2,後3,後 4,後5,後 6,後7,後 10,後11,後 12,後13,後 14
			自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことができる。 毎分120語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を把握できる。				2	後2.後3,後 4,後5,後 6,後7,後 10,後11,後 12,後13,後 14
							2	後2,後3,後 4,後5,後 6,後7,後 10,後11,後 12,後13,後 14
	自分や身近なこと及び自分の専門に関する情報や考えについて、 200語程度の簡単な文章を書くことができる。						3	後2,後3,後 4,後5,後 6,後7,後 10,後11,後 12,後13,後 14
評価割合					<u>, </u>			
	試験	課題小テスト	課題	態度		その他		計
総合評価割合	60	40	0	0	0	0		00
基礎的能力	60	40	0	0	0	0		00
専門的能力	0 0		0	0	0	0	0	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	